

## 知事コメント

令和4年6/9(木)

沖縄県では、病床使用率が高い本島圏域、宮古圏域に対して、5月13日にコロナ感染拡大警報を発出し、感染対策の徹底を呼びかけてきたところです。

現在、県全体の病床使用率は37.6%、圏域別では本島が44.3%、宮古が6.1%となっており、本島では40%を超えていますが、入院調整に困難が生じる水準とする60%に近づいていた、5月中旬頃と比較しますと改善しております。

そのため、本島圏域、宮古圏域に発出していましたが、コロナ感染拡大警報は、本日付で解除することとしました。感染拡大防止にご協力頂き、ありがとうございます。

新規陽性者数を年齢別で見ますと、10代や10歳未満が全体に占める割合が高く、6月2日からは17歳の新規陽性者数が前週比で1を上回り、また、6月4日からは16歳や18歳も前週比で1を超えるなど、10代の高校生において感染者が増える傾向にあります。

その要因を特定をすることは困難ですが、先週まで開催されていた、沖縄県総合体育大会(インターハイ)など、多くの人が集まる影響を考慮する必要があります。

県内では、今年1月の成人式や3月の卒業式等の行事が開催された後、該当する年齢の新規陽性者数が増加する傾向にあります。感染力が高いとされるオミクロン株の影響のほか、多くの人が集まる機会において、不特定多数の方がマスク無しで、会話や会食等を行うと、感染リスクが高まる傾向にありますので、注意が必要です。

夏を控え、県内各地で様々な行事が予定されているかと思えます。

また、沖縄県中学校体育連盟(中体連)地区大会もこれから本格化しますが、子どもたちに限らず保護者の皆さまも、イベントに参加する際には、多人数で集まらずに直行直帰し、重症化するリスクの高い高齢者や妊婦、基礎疾患を有する方に感染を拡げないよう、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

沖縄県では、5月の感染拡大時において小児の受診が急増し、4時間の待ち時間が発生するなど、医療ひっ迫が進み、また、学校・保育PCR検査の遅れ等により、検査を目的とした医療機関の受診も認められました。

そのため、医療機関へ小児の受診者が集中することを避け、県内小中高校生の有症状者及び同居する家族が自宅で検査を受けられるよう、抗原定性検査キットの無料配布(仮称 RADECO ラデコ)を行います。申し込み受付は、6月13日(月)正午から、専門の受付WEBサイトで開始します。

対象者は、有症状の小中高校生及び濃厚接触者に該当する同居家族となっており、委託事業者より配布された検査キットを有症状時に自宅で検査します。陽性の際には、沖縄県抗原定性検査・陽性者登録センターへ申請し、医師の電話問診につなげます。詳細は沖縄県ホームページに掲載予定ですので、ご参照ください。

県では、6月18日(土)に読谷村地域振興センターにおいて、3回目のワクチン接種臨時会場を設置します。予約無しでもワクチン接種が可能ですので、3回目未接種の方は是非、会場へお越し下さい。なお、1、2回目接種がまだの方は、沖縄県広域ワクチン接種センター各会場、又は各市町村のワクチン接種会場をご利用下さい。

明日6月10日から外国人観光客の日本への入国が、添乗員付きのパッケージツアーに限定して可能になります。成田空港などを經由して沖縄にお越しになる外国人観光客に対応する旅行業者におかれましては、6月7日に国(観光庁)が示した「外国人観光客の受入れ対応に関するガイドライン」に沿って、マスク着用など感染防止対策の順守をお願いいたします。

最後になりますが、新規感染者数の減少傾向を確実なものとし、社会経済活動を継続するためには、引き続き、基本的な感染対策を徹底することが重要です。

沖縄県では、県民の皆さまがコロナ禍においても、安全・安心に過ごすことができるよう、全力で新型コロナ対策に取り組みますので、引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。